

社会福祉法人旭川荘創立60周年記念

## 「悠久の庭」

旭川荘創立60周年の節目に当たり、旭川荘の歴史、先人の歩みを振り返り、将来に思いを致す場として、旭川荘発祥の旭川療育園と旭川学園の間の地に「悠久の庭」を整備しました。

### ● 概要

所在地：岡山市北区祇園866

敷地面積：367 m<sup>2</sup>

庭の構成：\* 川崎祐宣先生、堀川龍一先生、江草安彦先生 顕彰碑（レリーフ像）  
\* 旭川荘設立趣意書（石碑）  
\* 旭川荘の沿革及び江草先生「道終わりなし」の碑（石碑）  
\* 香淳皇后御歌碑<sup>みうた</sup>

工期：平成27年4月1日～8月31日

施工業者：株式会社 荒木組

### 顕彰碑（レリーフ像）



左から江草先生（第二代理事長）、川崎先生（初代理事長）、堀川先生（初代荘長）

制作：日本芸術院会員 蛭田二郎

# 旭川荘設立趣意書

旭川荘設立趣意書  
旭川荘は、旭川市に於ける社会福祉事業の発展を期すべく、社会福祉施設を建設し、社会福祉事業を推進することを目的として設立される。本趣意書は、旭川荘の設立の趣意、目的、事業内容、組織、運営方針等を説明し、社会福祉事業の発展に資することを期す。

## 旭川荘設立趣意書

財団法人川崎病院はその寄附行為第二条の目的及び第三条の事業に規定されている諸事業の一部として総合的な社会福祉事業を別記の如き企画に於いて行わんとす。近代社会福祉事業の特長は公的扶助の性格が濃化したことにあるが、その反面被扶養者の取り扱いに於いて愛情の欠け易い欠点があり、また時々刻々に変化する時代と社会の要求に応じ切れないうらみがある。かような欠陥をともなっているにもかかわらず時代の切実な要求により公的社会福祉事業は終戦後国家責任感の成長と共に発達して来たが、これには自ら限度のあることが判明した。

一方個人の恣意による私的福祉事業も益々発展して来た。公的福祉施設の欠陥を補うため私的福祉事業を更に発展させる必要があるが、その基本的立場は昔流の慈善博愛の事業ではなく社会共同責任観念の自覚と発達に促されたところの、いわば公的性格を持った私的事業でなくてはならない。

現在公的福祉施設は限られた階層の救済に主力を注がれているが、そのみでは我が国民の福祉は決して解決されないし、また社会福祉事業は救済事業ではなく社会全体のために行われるべきと考えるが故に、地域社会が要求する諸問題を鋭敏に感知しそれを認識し、社会的使命を自覚する立場から、本事業の基本的方向を決定して出発させたいのである。

而して社会福祉事業の発展は社会の民度(文化)の高さに比例するが故に民度が高くなれば認識する問題は多くなる。それに答え解決する力を与える責任が私共にとり使命感に生きる同志が茲に相謀り多方面の社会的協力を得て新しい総合的社会福祉事業を実現させんと開拓者の計画を夢みている。此の意味に於いて私共は開拓者であり、精神的であり、能率的であり、従って模範的であり得る確信を持つものである。

元來人間は不平等に生まれて来ているし、何日何時不幸に見舞われるかも知らず、又は個人の欠点及び其の責任に於いて招来しない文明の生む不幸もある。文化程度が高くなると今迄平気でいたことが不幸に感じられて来るが、之等の問題の認識に立つて問題や要求の解決に当りたいたため或は全部が全部社会事業法に合致せずともこれは私共の良心的手腕によりて現今社会にある不安と冷遇の問題を発見し、現行の社会福祉事業の不備不足の発見とその拡充対策を計画したい念願である。

敢言せば私共は現行社会福祉事業の発展充実策を實踐しようとして広く関係者の協力を得て本県に於ける問題が調査され測定されて真に解決される必要が明らかにされて企画立案され従前の如

き直感や漠然たる要望や思いつき等による部分部分の成果だけで考えられた欠点を改めて全体社会としての「必要」を常に基準として、それをより多く充足しようという意図と努力を以て総合的に、計画的に、相互連係協力して、組織的科学的専門的の方途を以て最も能率的に、効果的に本県に於ける社会福祉の問題を解決するために必要な社会資源を動員活用したいのであり、私共の取組んでいる問題とその対策を広く一般人士に理解し支援して欲しい悲願を立て、未だ我国に其の類を見ざる総合的社会福祉事業を建設せんとするものである。

本事業は社会福祉法人組織の準備中であるが、その認可を得る迄、先づ財団法人川崎病院の事業の一部として発足するものである。

この総合社会福祉施設の構想は下記のとおりである。即ちこの総合施設の配置を決定し、年次計画を樹立して緩急度において考慮し、必要度の高きものより漸次結果させる。

1. 事務局
2. 中央診療室
3. 田園都市建設
4. 肢体不自由児施設
5. 小児結核患者収容施設並びに身体虚弱児施設
6. 精神薄弱児収容施設の治療教育院
7. 保育所
8. 老人ホーム
9. 青少年のためのリクリエーションセンター
10. アフターケアの施設
11. 立体農場の建設

### 設立発起人 (五十音順)

- |       |               |
|-------|---------------|
| 伊原木伍朗 | 岡山商工会議所会頭     |
| 大本百松  | 大本組社長         |
| 川崎祐宣  | 財団法人川崎病院理事長   |
| 河原省平  | 医師            |
| 神崎保正  | 医師            |
| 黒住宗和  | 黒住教第五代教主      |
| 児玉俊夫  | 岡山大学医学部教授     |
| 更井良夫  | 岡山博愛会会長       |
| 清水多栄  | 岡山大学学長        |
| 高原滋夫  | 岡山大学医学部教授     |
| 谷口久吉  | 山陽放送社長        |
| 津田誠次  | 岡山大学医学部附属病院院長 |
| 西村伊勢松 | 岡山市教育委員 医師    |
| 野尻 收  | 岡山地方検察庁検事正    |
| 本城明朗  | 岡山大学医学部教授     |
| 前田秀雄  | 医師            |
| 村上 栄  | 岡山大学医学部教授     |
| 守分 十  | 中国銀行頭取        |
| 山岡憲二  | 岡山大学医学部教授     |
| 安井源吾  | 弁護士           |
| 分島 年  | オリエント社長       |

# 旭川荘の沿革及び江草先生「道終わりなし」の碑



書：日展会友 額田桂崖

## 旭川荘の沿革

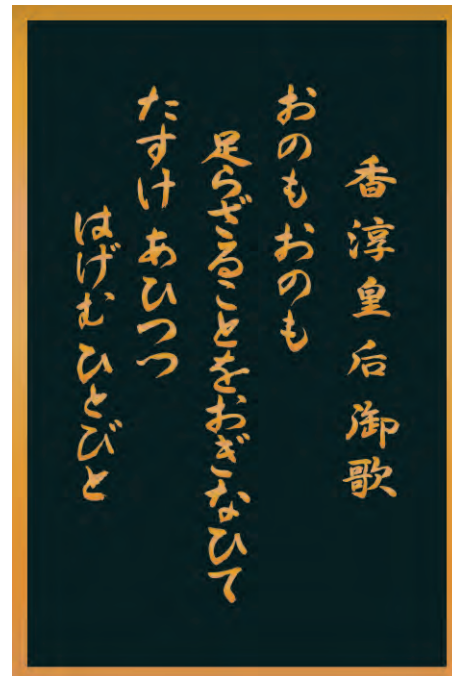
1993	1990	1987	1985	1984	1982	1979	1978	1977	1976	1974	1973	1969	1968	1967	1966	1962	1959	1958	1956	1955	1952	1951	
(平成5)	(平成2)	(昭和62)	(昭和60)	(昭和59)	(昭和57)	(昭和55)	(昭和54)	(昭和53)	(昭和52)	(昭和49)	(昭和48)	(昭和44)	(昭和43)	(昭和42)	(昭和40)	(昭和37)	(昭和34)	(昭和33)	(昭和31)	(昭和32)	(昭和32)	(昭和31)	(昭和31)
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
強度行動障害特別処遇事業(いづみ寮)開設	望の丘作業所(知的障害者通所授産施設)開設	第一回福祉の翼訪中団 上海市訪問	重症心身障害児通園モデル事業開始	知的障害者グループホーム創設	有限会社トモニ(障害者雇用事業所)設立	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設	たかはし授産センター(知的障害者通所授産施設)開設

(続き次ページ)

## 旭川荘の沿革（続き）

1994	(平成6)	年	かわかみ療護園（身体障害者療護施設）開設
1995	(平成7)	年	デイサービスセンター敬老園開設
1997	(平成9)	年	睦学園（重症心身障害児施設）開設
1998	(平成10)	年	デイサービスセンターかっこう花開設
1999	(平成11)	年	川崎祐宣記念総合在宅支援センター開設
2000	(平成12)	年	日中医療福祉研修センター（上海市）開設
2000	(平成12)	年	岡山障害者雇用支援センター開設
2000	(平成12)	年	さくら児童館開設
2002	(平成14)	年	グループホームはなみずき開設
2002	(平成14)	年	岡山県立津島児童学院（情緒障害児短期治療施設）運営開始（受託）
2003	(平成15)	年	いんべ通園センター（障害者通所施設）開設
2003	(平成15)	年	自閉症・発達障害支援センター開設
2003	(平成15)	年	岡山県立おかやま福祉の郷（のぞみ寮・わかば寮・かえで寮・わかくさ学園）運営開始（受託）
2004	(平成16)	年	厚生専門学院吉井川キャンパス、研修センターよしい川開設
2004	(平成16)	年	旭川荘南愛媛病院・南愛媛療育センター運営開始（国からの移譲）
2005	(平成17)	年	岡山・上海高齢者介護教員養成事業開始
2006	(平成18)	年	川上診療所・ひだまり苑（老人保健施設）・備中診療所等運営開始（指定管理）
2007	(平成19)	年	三世交代交流センターよしい川開設
2007	(平成19)	年	支部制発足（備前支部・備中支部・愛媛支部）
2007	(平成19)	年	愛媛県鬼北町立北宇和病院運営開始（指定管理）
2007	(平成19)	年	学校法人旭川荘設立、旭川荘療育アカデミー開校
2007	(平成19)	年	末光茂理事長就任
2008	(平成20)	年	結びの杜ホーム（有料老人ホーム）開設
2008	(平成20)	年	旭川荘ミュージックアカデミー開設
2008	(平成20)	年	アトリエ夢工房開設
2009	(平成21)	年	せとうち旭川荘（障害者通所施設）開設
2009	(平成21)	年	ひらた支部開設
2010	(平成22)	年	デイセンターあかしや（障害者通所施設）開設
2010	(平成22)	年	旭川荘アートギャラリー開設
2011	(平成23)	年	かわかみケアホーム（身体障害者グループホーム）開設
2013	(平成25)	年	医療機関の統合により旭川荘療育・医療センター発足
2014	(平成26)	年	旭川荘総合研究所開設
2014	(平成26)	年	旭川荘真庭地域センター開設

## 香淳皇后御歌碑



書：日展会友 額田桂崖

この御歌は香淳皇后が福祉事業について詠まれ、昭和三十八年年頭に発表されたものです。

旭川荘は、昭和三十七年に昭和天皇香淳皇后の行幸啓を賜っており、創立六十周年に当たることを記念して、香淳皇后の福祉事業に対する温かいお気持ちの後世に伝えるため、この歌碑を設立します。

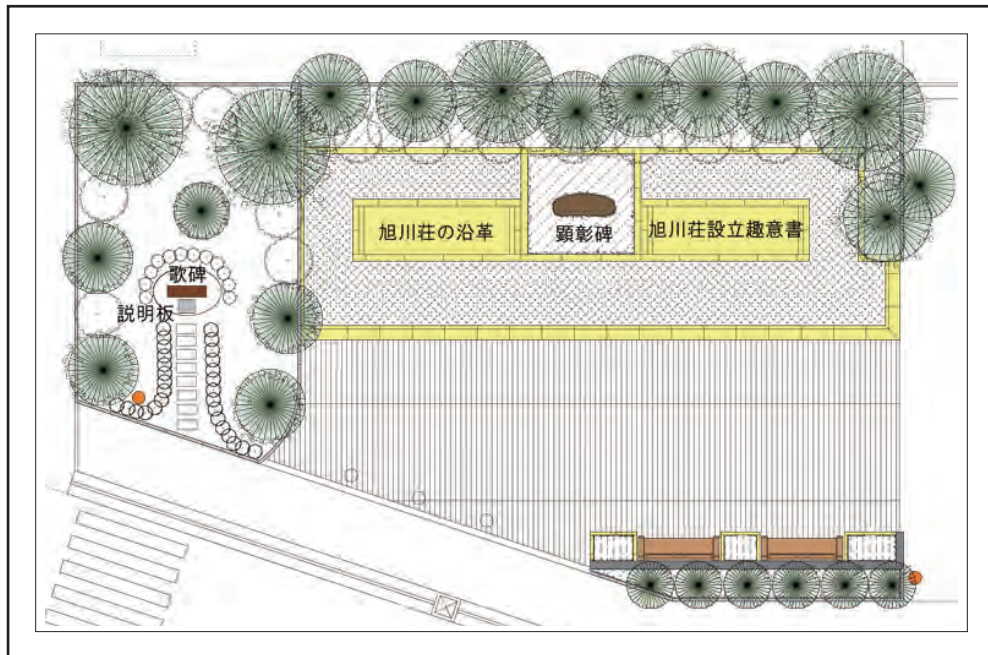
平成二十七年九月吉日

社会福祉法人 旭川荘  
理事長 末光 茂

# 全 景 写 真



# 配 置 図



# 位置図

